

## 被災建築物応急危険度判定について

応急危険度判定は、大地震により被災した建築物を調査し、その後に発生する余震などによる倒壊の危険性や外壁・窓ガラスの落下、付属設備の転倒などの危険性を判定することにより、人命にかかわる二次的災害を防止することを目的としています。

その判定結果は、建築物の見やすい場所に表示され、居住者はもとより付近を通行する歩行者などに対してもその建築物の危険性について情報提供することとしています。

また、これらの判定は建築の専門家が個々の建築物を直接見て回るため、被災建築物に対する不安を抱いている被災者の精神的安定につながるといわれています。



No. 3 平成19(2007)年10月発行

# 奈良県住宅・建築物 耐震化促進協議会

## ニュースレター

平成19年7月22日(日)~23日(月)の2日間  
奈良県職員による新潟県中越沖地震の被害を受けた建築物に対する  
被災建築物応急危険度判定における広域支援活動を行いました。



【新潟県柏崎市にて】



### 【お知らせ】

県及び県内全市町村が参画する「建築物の耐震化促進に係る市町村連絡会議」では、地震に備えた木造住宅の耐震診断や耐震補強に関し、知っておきたい基礎知識などを専門家が分かりやすくお伝えする講演会を開催します。

講演会 **あなたの住まいは大丈夫？** **無料**  
～地震に備えてわが家の診断を～

日時：平成19年10月22日(月) 13:30～16:20

場所：桜井市立図書館(桜井市河西31番地)

講師：京都大学防災研究所 准教授 牧 紀男 氏  
 ㈱伸構造事務所 代表取締役 中本 明 氏

問合せ先

奈良県土木部建築課まちづくり推進係  
TEL 0742-27-7561

◆協議会会員の皆様のご参加をお願いします。

**講演会** あなたの住まいは大丈夫？

**あなたの住まいは大丈夫？**

◆ 平成19年10月22日(月)  
13:30～16:20 (開場13:00)

◆ 桜井市立図書館 (桜井市河西31番地)  
※会場は雨天決行です。雨天時は、本会事務局にてご連絡いたします。

◆ 定員 300名(16名席) ◆ 参加費 無料

◆ 13:35～15:05  
「地震に備えてわが家の診断を」  
【講】 牧 紀男 (kyochiro@post.keio.ac.jp)

◆ 15:10～16:20  
「新築リフォームを考える」  
～マイホームの耐震性を高めよう～  
【講】 中本 明 (nakanaka@shinsei.co.jp)

◆ 講師 講師 中本明氏  
TEL 0742-27-7561  
FAX 0742-27-7790  
E-MAIL kenchu@office.pref.nara.jp

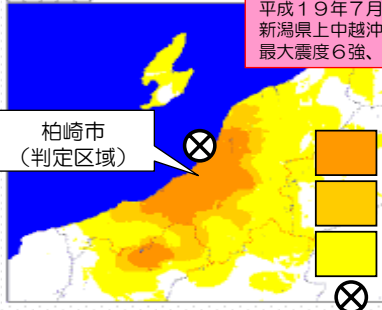
※1日1名ずつ申し込みを要します。  
※参加費は無料です。お申し込みの際は必ずお名前と住所を明記してください。

◆ 協賛 中本明氏建築事務所(中本明氏)  
伸構造事務所(中本明氏)

主催 奈良県土木部建築課

# 平成19年7月20日、国土交通省を通じた、新潟県中越沖地震における被災建築物応急危険度判定士の応援要請を受けて、奈良県では、県職員を派遣しました。

## 広域支援活動の派遣体制



平成19年7月16日 10時13分、新潟県上中越沖を震源とする、最大震度6強、マグニチュード6.8の大地震が発生。

【判定士の派遣元】	
支援本部（新潟県）	新潟県、県内市町村、(財)新潟県建築士会
広域支援	北海道・東北被災建築物応急危険度判定協議会
	10都県建築物応急危険度判定協議会
	中部圏被災建築物応急危険度判定協議会
	近畿被災建築物応急危険度判定協議会
その他	中国・四国被災建築物応急危険度判定協議会
	国土交通省北陸地方整備局 国土交通省近畿地方整備局

### 近畿ブロックの派遣体制

大阪府30名、京都府15名  
兵庫県22名、和歌山県18名 計106名  
奈良県16名、徳島県3名 (延べ212名)  
近畿地方整備局2名  
(滋賀県は中部ブロックとして派遣)

### 奈良県の派遣体制

平成19年7月21日(土)～24日(火)  
(判定実施日：7月22日・23日 前後泊含む)  
公用車による移動：各所属の公用車6台に分乗  
走行距離：往復約1,200km(現地移動含む)

派遣判定士の内訳(県職員：16名)  
本庁職員(11名)、土木事務所職員(5名)



判定期間	7月22日(日)	7月23日(月)
判定区域	柏崎市幸町付近 (JR柏崎駅南側)	柏崎市半田町付近 (柏崎IC付近)
判定人員	16名(8班)	16名(8班)
判定棟数 及び判定結果	218棟 危険 10棟 要注意 30棟 調査済 178棟	140棟 危険 12棟 要注意 34棟 調査済 94棟
概況	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺の住宅地で店舗、住宅が混在する地域</li> <li>地盤の揺れによる、基礎被害多数</li> <li>土止めよう壁、大谷石の塀等の被害多数</li> <li>危険判定は建物の傾斜による</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古い住宅と新しい住宅の混在する住宅地</li> <li>軟弱地盤による基礎被害、建物の傾斜、大谷石の塀の被害など多数</li> <li>断層被害による棟の落下や倒壊等の大被害も点在</li> </ul>

## 被害状況、判定活動の全体概要

(注)平成19年7月30日AM9：〇〇速報数値(新潟県提供資料より)

### 新潟県中越沖地震による建物被害状況

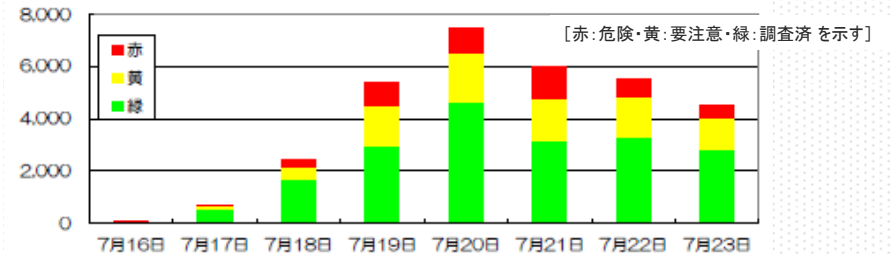
区分	住宅被害								非住宅被害 公共施設 +その他
	全壊		大規模半壊		半壊		一部損壊		
単位	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟数	世帯	棟
新潟県計	1,024	1,017	218	201	1,223	993	16,625	14,765	11,100

### 判定活動の概要

活動期間：平成19年7月16日(月)～平成19年7月23日(月)の8日間  
派遣判定士：判定士数 1,330班 2,758人  
(うち柏崎市での判定士数 1,268班 2,617人)  
柏崎市での1日の判定活動従事者のピーク 261班 548人

### 判定集計結果

地域	調査件数	緑	黄	赤
		件数	%	件数
柏崎市	32,090	19,179	8,295	4,616
	100	59.8	25.8	14.4
新潟県計	34,048	20,150	8,943	4,955
	100	59.1	26.3	14.6



[被害状況(柏崎市内)]

住宅をはじめ、病院、店舗、避難所となるべき公共施設など様々な建築物が地震による被害を受けていました。

**地震に備えて、建築物の耐震化を進めることが重要です。**